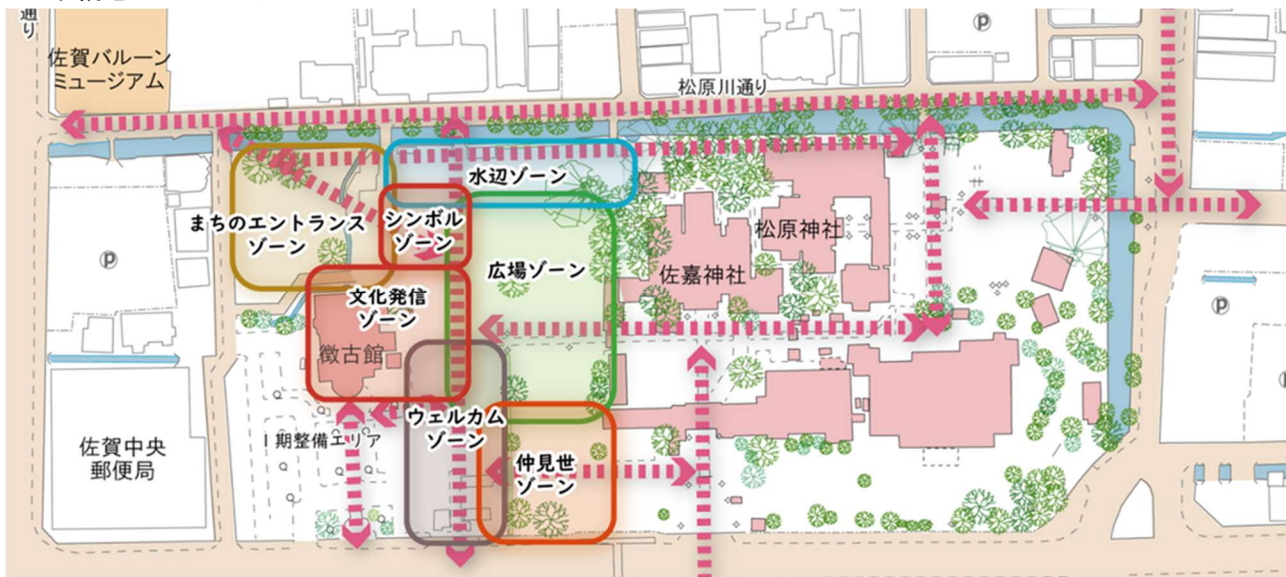


令和6年度進行管理・評価シート

補足資料

③-3 松原公園整備事業

基本構想ゾーニング



整備イメージ

まちのエントランスゾーン

まちなかからの人の流れを松原公園へ誘導する、緑にあふれたエントランスゾーン

〈整備イメージ〉

- ・親水機能や休憩機能により、まちなかのオアシスとなるよう整備
- ・樹木により、徴古館の背景を演出

〈利用イメージ〉

- ・地元の人や観光客がふらっと休憩
- ・親水空間など自然の中で遊ぶ



水辺ゾーン

松原川の豊かな水辺景観を活かした親水空間のゾーン

〈整備イメージ〉

- ・水辺デッキなどにより松原川を身近に感じられる
- ・水辺の散策路を佐嘉神社側までつなぎ一体的に利用

〈利用イメージ〉

- ・水辺デッキに座って休憩や飲食
- ・水辺を散策して風情を感じる
- ・松原川に降りて水遊び



文化発信ゾーン

展示空間やギャラリー、カフェなどにより、まちの歴史や文化を発信するゾーン

〈整備イメージ〉

- ・鍋島家とともにあった佐賀市の発展を学ぶことができる場
- ・日常的な休憩スポットであり佐賀の歴史文化に親しめる飲食施設

〈利用イメージ〉

- ・子どもが歴史を学べる、感じられる
- ・観光客が佐賀市の歴史を知りに来る



広場ゾーン

佐嘉神社西側の社寺林を背景としながら、日常利用を中心とした、さまざまな用途に利用可能な広場のゾーン

〈整備イメージ〉

- ・佐嘉神社社殿を眺めることのできる、見る見られる関係を活かした空間に
- ・周囲の他広場と差別化した広場を整備し、一体的にも分けけても利用できる空間に
- ・佐嘉神社との動線を確保

〈利用イメージ〉

- ・子どもが身体を動かして遊ぶ
- ・親は見守りながら休憩



シンボルゾーン

松原公園のシンボルとなり、歴史を感じることができるゾーン

〈整備イメージ〉

- ・銅像跡を表現し、歴史を学ぶきっかけを提供

〈利用イメージ〉

- ・待ち合わせ場所として利用
- ・銅像跡の表現や説明サインから、当時の歴史を感じる



仲見世ゾーン

仲見世のようにお店などがあり、人のにぎわいを創出するゾーン

〈整備イメージ〉

- ・常設店舗、仮設店舗スペース、休憩場所、通りなどの要素で構成
- ・貫通道路(国道264号)や城内、バス停からアクセスしやすい空間に

〈利用イメージ〉

- ・食べ物や飲み物を買ってきて休憩
- ・イベント時には店舗が並び



ウェルカムゾーン

貫通道路(国道264号)や城内から興味を引き、人の流入を促すゾーン

〈整備の考え方〉

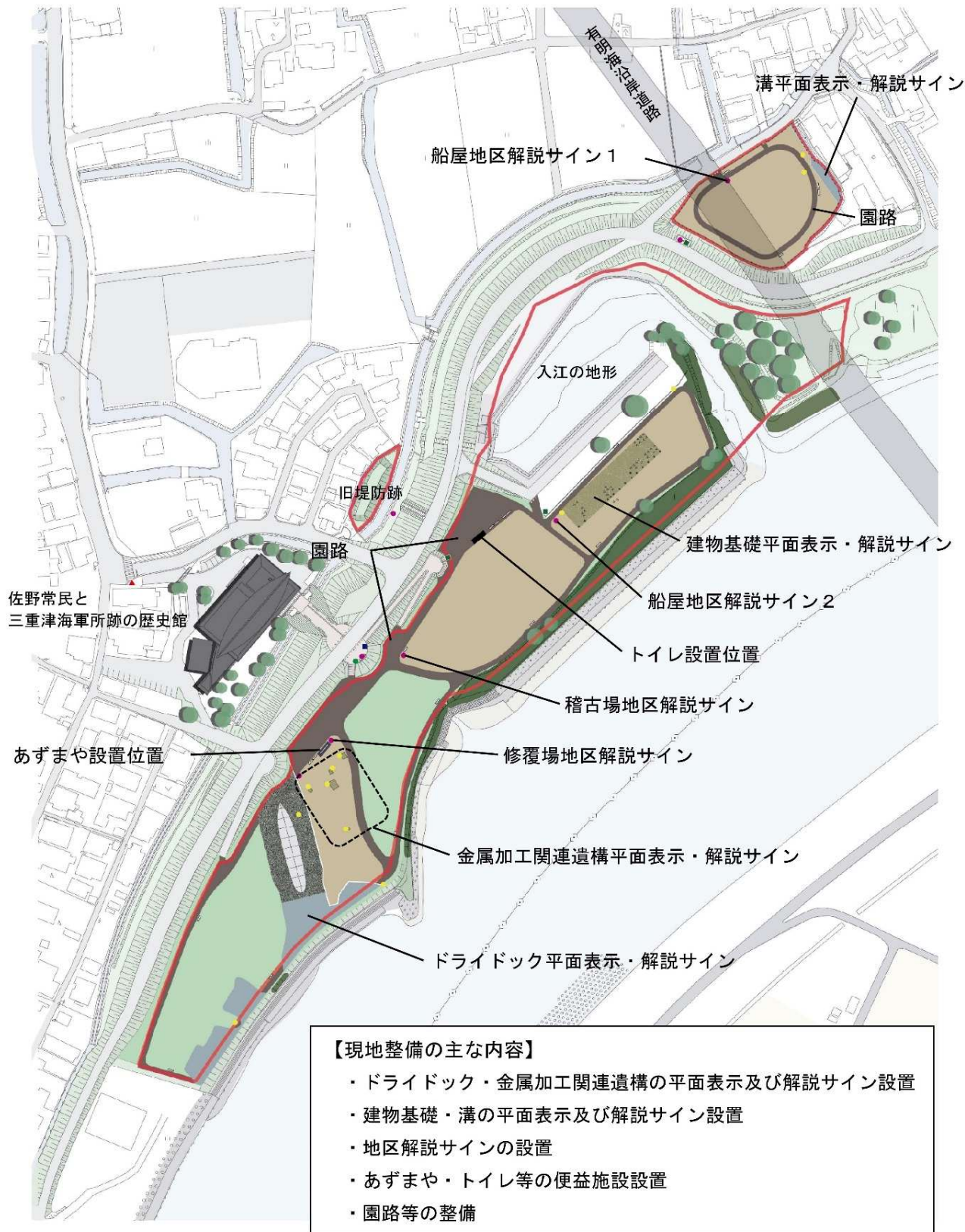
- ・道路から公園内を見通すことができる、南北の軸線を通す
- ・松原公園の拠点となる文化発信ゾーンや広場ゾーンとのアクセス性を向上させる



③-7 史跡「三重津海軍所跡」保存整備事業

三重津海軍所跡現地整備計画図

○全体平面図



○鳥瞰全景



○トイレ・建物基礎周辺



○ドライドック周辺



③-9 まちづくりファンド活用事業

●有限会社大



施工前



施工後



施工前



施工後

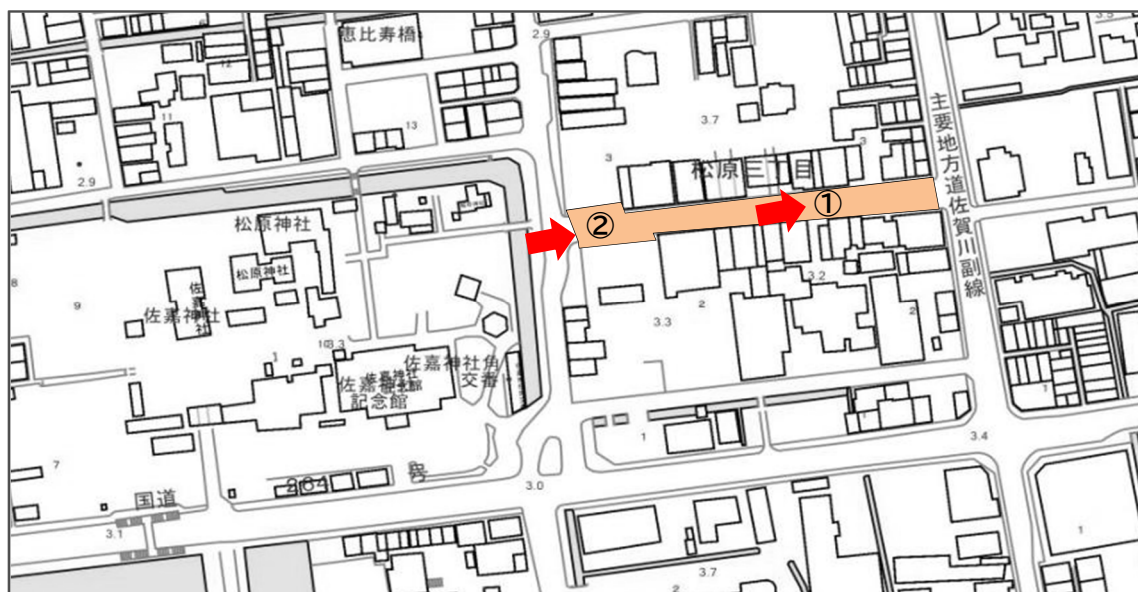


施工前



施工後

③-13 新馬場通り(松原神社参道)整備事業



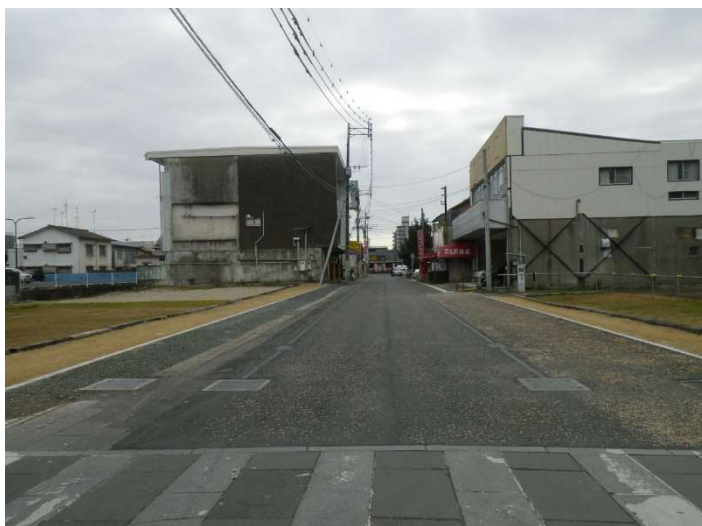
① 施工前



施行後



② 施工前



施行後